

分野	荒廃山地の復旧等の治山			事業番号	4	事業名	山地治山(予防治山)				
市町村名	小諸市	ふりがな箇所名	やまいり 山入	事業年度 (完了年度は見込み)	H24 年度 ~ H24 年度						
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	山腹工 0.20ha(落石防護網工 2,000㎡)				H23年度末 事業進捗率	- %				
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	- %				
	H24年度実施内容	同上				用地補償費ベース	- %				
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残					
	事業費計(千円)	32,500			32,500	32,500					
財源内訳	国庫支出金	16,250			16,250	16,250					
	その他										
	県債	14,625			14,625	14,625					
	一般財源	1,625			1,625	1,625					
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			ランク	評点		
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上	1~9戸	0戸	B	0				
		保全対象公共施設	2箇所以上	1箇所	なし		3				
		保全対象に災害時要援護者関連施設があるか	重要施設	一般施設	なし		0				
		保全対象(保安林・林業用施設)	「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上	保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり	保安林率30%未満		7				
		小計								10	
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去5年に1回以上	災害履歴地	なし	A	5				
		交通遮断による地域経済などへの影響	大	中	小		3				
		防災計画上の位置づけ	あり	なし			5				
		小計								13	
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C2.0以上	B/C1.0以上2.0未満	B/C1.0未満	A	10				
		早期発現度	3年未満	3年以上5年未満	5年以上		7				
		流域の総合調整	あり	なし			0				
		小計								17	
	緊急性 (25)	最寄の保全対象までの距離	50m未満	50m以上200m未満	200m以上	A	7				
		地形、地質の状況	火山噴出物、花岡岩、第3紀層、破砕帯かつ地すべり地形	火山噴出物、花岡岩、第3紀層、破砕帯	その他		2				
		平均溪床勾配(平均山腹勾配)	10°以上(30°以上)	5°~10°未満(20~30°未満)	5°未満(20°未満)		3				
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	なし	あり(概ね満砂)	あり(ポケットあり)		5				
		危険地区危険度	Aランク	Bランク	Cランク		なし	4			
		小計								21	
	計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い	市町村要望有り	特に要望ない	B	7				
		事業情報の共有	関係者以外にも周知	関係者中心に周知	特に周知していない		3				
		住民参加の状況	住民が直接参加	住民市町村意見を反映	住民意見反映していない		3				
		小計								13	
	費用対効果(B/C)		4.07	評価の合計			B	74			
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該地は、平成5年度、平成7年度、平成12年度と落石防護対策工事を実施してきた。平成23年度には県単治山事業でその落石防護柵の裏に満林となった流出土砂を取り除きフレッシュを図った箇所である。平成23年5月29日の梅雨により、既設落石防護施設のない区間で、市道へ保安林から落石が発生し、通行に支障がでた。その後も降雨のたびに落石が繰り返し発生している。当該市道は千曲小学校の児童の通学路にも利用されており、西浦、上平集落から小諸市内へ至る幹線道路である。									
	地域からの要望経緯	平成23年5月29日に、落石撤去と共に、市道へ落石注意の警告看板が設置された。平成23年5月30日に落石発生の情報が小諸市役所を経由して地方事務所に通報あり。									
	事業説明等の経緯	平成23年6月17日、小諸市役所農林課と現地調査、その後地元区長に状況を説明。地元区より事業の早期実施を強く要望された。									
	環境・景観への配慮項目	特になし。									
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。									
特記事項	特になし。										
地域の合意形成		全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他					
部意見	平成23年5月豪雨の影響等による山腹斜面の侵食、風化により、新たな落石の危険性が確認された。下方には小学校の通学路である市道があることから、緊急に対策を図る必要がある。			政策評価課意見	重要性、緊急性が認められる。						